

# 南阿蘇村で農業を

## 第1回「農のしごと」トークショー&相談会、 第1回新規就農・就業現地研修ツアー 開催

9月7日、本村の農業を担う新たな人材確保のため、蔦屋書店熊本三年坂の協力のもと、トークショー&相談会が開催されました。

当日は、熊本市ラジオパーソナリティーの高智穂さくらさんを司会に、パネラーは村外から南阿蘇村に定住した新規就農者3人(影沢裕之さん、荒木昌造さん、平井訓史さん)に参加していただき、南阿蘇村に来て迷ったこと、良かったことや、村の魅力について語ってもらいました。

相談会では就農希望参加者から、村への定住、就農の方法や手続きのタイミングなどの相談がありました。

同月の28日には、第1回新規就農・就業現地研修ツアーを開催。熊本市、嘉島町から5人が参加しました。



《現地研修ツアーに参加した皆さん》



《トークショーの様様》

バラの栽培や自然薯の栽培を経営され、村農業研修生受入協議会会員の後藤芳暁さん(第二駐在)の施設や、大玉トマトの栽培の経営をされている荒木昌造さん(第六駐在)の施設を見学し、就農前の研修の重要性や就農後に関する施設等の初期投資などの説明を受けました。

研修後は今夏にモーニングカフェを始めた荒木さんのカフェで参加者とベテラン農家との交流会を実施し、参加者全員から「とても有意義な研修で良かった」と就農についてやる気をにじませていました。

## 「南阿蘇村農業研修生受入協議会」の取り組みを報告 熊本県新規就農シンポジウム

ここ3、4年、熊本県の新規就農者数は年間300人程度で、やや伸び悩み傾向にあります。全国で行う就農相談会での相談者も減っており、Uターン者や新規参入者も減少している状況です。

そのような現状の中、県新規就農支援センター主催の「熊本県新規就農シンポジウム」が、グランメッセ熊本(益城町)で行われました。県、農業大学、農業委員会、JA、各研修機関、行政など約90人が出席し、村協議会、山都地域担い手総合支援協議会(山都町)、芦北地方農業振興協議会(県芦北農業普及・振興課)、天草市担い手育成支援協議会(天草市)の4団体が「新規就農者の確保に係る課題」をテーマにパネルディスカッションのパネラーとして参加。村協議会からは事務局が、「熊本市や福岡市に出向き、イベントを通じて村の景観や農業の魅力を伝えた後、ツアーで村に直に来ていただき五感で感じて欲しい。農業への入り口は様々で、その人に合う研修が出来る環境づくりを整えることも必要」など説明。「今後は業者とコラボして新規就農者を募るなど、色々な手法で新規就農者を確保したい」と報告しました。

